

リーディングDXスクール事業【実践事例】

鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校（鹿児島県）【指定校】

【取組内容】 ① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

教育プラットフォームの活用

クラウド型の教育ICTサービスを利用して課題の配信・自主的な学習の取組を促進している。生徒は自分のペースで配信された問題を解いたり動画を視聴したりして学習を進めることで、個別最適な学びの充実につながっている。また、教師は生徒の取組状況を把握することで、生徒一人一人の学習がどこまで進んでいるかが分かり、指導の個別化に役立てている。

クラウドの活用

教科の授業や総合的な探究の時間等で、生徒がグループでプレゼンテーションを作成する際に、Microsoft Teamsを活用することで共同作業ができるようにしている。生徒は各自で作成したデータを持ち寄り、グループで共同して編集することで個別の学びから協働的な学びへとつなぐことができている。教師は作業の様子を見ながら助言を与えて、よりよい学びへと導いている。